

総務委員会

委員長 加藤 利江

審査案件

付託議案
報告第29号・
第84・85・86・
87・91・92・
95・96・97・
100号

問 市たばこ税の改正についてだが、税率と販売価格の引き上げ率とが異なると思われる。見解を聞きたい。

答 販売価格については、販売業者が税率の改正に伴って改定しております。今回の場合、自動車販売にかかる経費などを考慮し、税率以上に上がるものと考えられます。

問 所得控除について、改正前の損害保険料控除にはどのようなものが含まれるのか。また、改正前に損害保険料控除の適用となったものが、改正後はすべて控除が受けられなくなるのか。

答 損害保険料控除には、火災保険や建物更生保険などが含まれます。また、平成18年12月31日までに契約を締結した長期損害保険料については、経過措置として控除の対象になります。

問 深谷市国民保護対策本部及び深谷市緊急対処事態対策本部に関する条例について、国民の

生命・身体・財産を保護することを条例設置の目的としているが、有事の際、具体的にどのような市民を保護するのか。

答 今後、国民保護計画を策定していく中で、検討していきます。

問 深谷市国民保護協議会条例であるが、この協議会は、深谷市の国民保護計画を策定することが前提だと思われるが、現在の計画等がどうなっているのか。また、市の計画策定の時期はいつ頃か。

答 埼玉県の計画は、平成18年1月に策定され、深谷市の保護計画は平成19年3月議会に報告できればと考えています。



福祉文教委員会

委員長 黒澤 昭二

審査案件

付託議案
第88・100号
請願第4号

問 障害程度区分認定審査会に、利用者や保護者を委員として登用するのか。

答 障害福祉に精通し中立公正の保てる方を市町村長が任命します。

問 今後民間の学童保育室は公立化していくのか。

答 市が調査した結果、民間の方は民間で行きたいとのことから、公立化は考えていません。

問 高齢者ふれあいの家管理事業では旧町1箇所、場所はどこか。

答 今年度岡部地区に1箇所予定していますが具体化していません。

問 教育活動推進費の中で中学校に派遣する指導員は10名までだが、全校に1名ずつ配置すべきではないか。

答 子どもふれあいサポートとして、大変効果があり、状況を見極めながら多くの学校に配置し、教育の充実を進めてまいります。

問 老人日常生活用具給付費は、1万5千円が上限だが、1基の価格で対応できるのか。

答 1基6千円、2基付けて、取付費を合わせ1万5千円を見込んでいます。大寄学童保育室建設事業は、

設計に保護者や指導員の意見を反映していくのか。

答 保護者へ説明をし、要望や意見を聞き、指導員の意見も聞き進めていきます。

問 LD・ADHDの子どもの障害支援員2名の補正で教育上十分な支援を確立できるか聞きたい。

答 ノーマライゼーションの考えに基づく教育で、障害を抱えている子どもが普通教室と一緒に学んでいます。障害の進行もある中で、子どもの障害状況を見ながら対応していきます。

問 全国的に医師が少ない中で、特に埼玉県は少ない。少子高齢化の時代に産婦人科や小児科が特に少ないので、医師・看護師の増員を要請すべきである。本請願は採択すべきと考えます。

答 請願第4号

注釈
※LD…学習障害のこと。
※ADHD…注意欠陥・多動性障害のこと。



市民環境産業委員会

委員長 中村 泰典

審査案件

付託議案
報告第29号・
第89・93・94・
100・105号

問 国民健康保険税の改正は、市民のどれくらいの方が対象となるのか。また、どのように周知していくのか。

答 世帯数で5600世帯の見込みです。7月の広報でお知らせいたします。

問 深谷市物産館の開館時間は検討の余地があるか。また、観光協会との連携はどうするのか。

答 開館時間は運用しながら必要であれば市長の許可のもと考慮いたします。観光協会とは連携を密にして、市をPRしてまいります。

問 ごみ減量化事業について方法は考えているか。

答 分別品目を増やす方法等ありますが、詳細については今後の検討課題です。

問 道の駅、オープンセレモニーの内訳はどんなものか。

答 新聞折込みチラシで4万6000軒に配布、広報折込みもあわせて検討いたします。



問 農業振興地域整備計画事業の方向性は持っているか。

答 地域農家の意向を踏まえて、策定いたします。

問 防犯カメラの設置の検討はしているか。検討しているとしたらどんな場所か。

答 今後、条例に基づき検討いたします。場所は具体的には決まっておりません。

問 防犯協会については、警察署それぞれの所管になるのか。

答 防犯協会は警察の機関ではないため、深谷市として一つの協会が設立でき、そのよう

建設委員会

委員長 永田 勝彦

審査案件

付託議案
第90・98・99・
100・101・
102・103・
104号

問 深谷小学校の通学路の安全対策は。

答 以前の通学路は、一般の車両が通行していましたが、別ルートとして水路にふた掛けをし、歩行者専用道路として整備し、通学の安全安心確保に努めています。

問 道路台帳の修正と整備について聞きたい。

答 道路台帳は、境界杭の位置、側溝の種類や構造、電柱などの占有物件が図面に盛り込まれており、道路占用や側溝への排水の接続などの管理ができます。

問 旧花園町の道路台帳は、旧深谷市と同じ500分の1の縮尺で、精度的にある程度近いが、旧川本・岡部町の道路台帳は、縮尺1000分の1で内容に違いがあります。

問 岡部総合支所管内の台帳整備は、3か年を予定しています。

問 水道の老朽管及び石綿管更新について聞きたい。

答 平成17年度末で老朽管は、1003km、石綿管は197.5kmあります。今年度は、事業費5億円で12.2kmの整備を予定しています。本年度ベースで今後整備すると15年程度かかる予定です。

問 水道施設にかかるアスベスト除去の補助基準について聞きたい。

答 アスベストを使用している仙元山配水場、八幡西浄水場、花園導水ポンプ場の天井や壁の実面積482.6㎡に補助基準の1㎡当たり3万4300円に補助率3分の1を乗じた金額であり

